

2017年9月3日(日)に富士吉田市民会館「富士山ホール」において開催しました。

1. 転倒予防実践セミナー(午前10時～12時)

セミナーには実務者32名が参加(遠くは京都からも参加あり)。

北湯口純氏(雲南市立身体教育研究所うなん主任研究員/日本転倒予防学会理事)と横山和貴氏(ケアポートみまき温泉アクティブセンター健康運動指導士)のお二人を講師に迎え、「転倒予防のための運動療法～エビデンスに基づく実践のコツ～」について始めの一時間は座学で、後半は舞台の上で実践講義をいただきました。

2. 市民公開講座(午後1時～午後2時)

開会に先立ち富士吉田市市長堀内茂氏よりご挨拶をいただきました。

「子どものからだを育む-学校健康診断における運動器検査の必須化の意義と基本理念-」のタイトルで理事渡邊の座長の下、武藤芳照氏(日体大総合研究所所長/日本転倒予防学会理事長)に講演をいただきました。

武藤氏の自己紹介から始まり、

- (1) スポーツと教育の原義
 - (2) 心もからだも健やかに
 - (3) 少子高齢化社会の進展
 - (4) 運動処方・スポーツ科学の原理
 - (5) 気づく力と見守る目、「リスク感性」を磨く
 - (6) 子どもの身体の一極化現象
 - (7) 学校での健康診断の改善-運動器検診の本格導入-
 - (8) 繰り返すまい熱中症事故-健康のため水を飲もう-
- (結) からだを動かし 心を動かす

の内容で随所にクイズを交え分かり易く、大切な内容のお話をいただき聴衆からも好評でした。

3. 実践報告(午後2時20分～午後3時)

天野力郎氏(国民健康保険富士吉田市立病院整形外科診療部長・日本転倒予防学会評議員)の座長の下、相川禎孝氏(国民健康保険富士吉田市立病院リハビリテーション科・転倒予防指導士)により

- (1) 「富士吉田市内の小中学生に対する転倒予防活動～市・病院・学校が連携して～」
- (2) 「当院における転倒予防活動」

の2演題を報告していただきました。

4. みんなで討論(午後3時～午後4時)

座長に武藤芳照氏(前記)をお願いし、以下の3名のパネリストが参加しました。天野力郎氏(前記)・相川禎孝氏(前記)・宮下智美氏(富士吉田市立吉田中学校養護教諭)

- (1) 自己紹介:子どもの頃はどんな子だったか? 子どもの頃良くした遊びは? など
- (2) 現代の子どもの体について:運動不足やスポーツ過多に伴う障害やエピソード。学校健診、運動器検診について。子どもたちの転倒とその予防について。など
- (3) 転倒予防、介護予防について:地域在住高齢者、医療機関での高齢者や介護施設での高齢者の転倒とその予防について。

などの討論をしていただきました。

武藤芳照氏にこのフォーラムの最後に

1. 普段の暮らしが自然な訓練

2. 児童・生徒の運動器と運動を大切に
 3. 予防にまさる治療は無い
 4. しっかり歩く、またぐ、登って降りる
 5. 誰もが健やかで、実りある日々を
- を挙げていただき1～5の頭文字をとって「ふ・じ・よ・し・だ」と結ん きました。

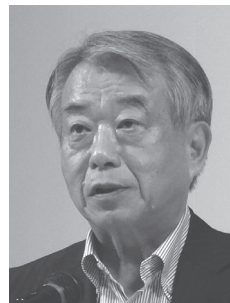
(共催：エーザイ株式会社)



転倒予防実践セミナー



堀内茂市長



武藤芳照氏



渡邊洋座長



みんなで討論



相川禎孝氏



宮下智美氏



天野力郎氏